



2024年12月4日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
(東証スタンダード・名証メイン コード:4667)
問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典
(Tel 052-950-7500)

**自動運転レベル4の基準に準拠！ティアフォー社製、自動運転バス
Minibus 2.0の販売取り扱い開始のお知らせ**

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、株式会社ティアフォー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 真平、以下 ティアフォー）が自動運転機能に対応したEVの生産を加速させるソリューション「ファンファーレ」ラインナップの新モデルとして発表をした「Minibus 2.0」の販売取り扱い開始をしたことをお知らせします。

詳細は別紙をご覧ください。

以上

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2024年12月4日

アイサンテクノロジー株式会社

自動運転レベル4の基準に準拠！ ティアフォー社製、自動運転バス Minibus 2.0 の販売取り扱い開始のお知らせ

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、株式会社ティアフォー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 真平、以下 ティアフォー）が自動運転機能に対応したEVの生産を加速させるソリューション「ファンファーレ」ラインナップの新モデルとして発表した「Minibus 2.0」の販売取り扱い開始をしたことのお知らせします。

同モデルは、日本政府が定める自動運転レベル4の基準に準拠し、「Minibus 1.0」よりも安全性を向上させるための冗長システムをさらに強化しています。くわえて、「Minibus 2.0」の自動運転キット（Autonomous driving Development Kit：ADK）は、ティアフォーの第2世代のアーキテクチャを基盤にしており、ティアフォーのリファレンスデザインと高い互換性を持つように最適化されています。

また、同モデルは、先進的なセンサー（長距離・短距離 LiDAR、物体検出カメラ、信号機検知カメラ、レーダー、慣性計測装置、全地球航法衛星システム）を搭載し、ティアフォーの電子制御ユニットや車両制御ユニットによってサポートされています。これにより、車両とシームレスに統合し、自動運転性能をさらに向上させることが可能です。

同モデルは、日本各地での展開を目指しており、2024年末を目途に納品開始を予定しております。そして、地域ごとの企業主導の導入拡大に加えて、海外展開も視野に入れて同モデルの生産と推進を実施し、自動運転バスへの高まる需要に応えていく予定です。



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

アイサンテクノロジー株式会社

モビリティ・DX ビジネスグループ

TEL：052-950-7500

E-Mail：atam@at45.aisantec.jp